



感染症週報



小笠原での流行状況

第19週（5月6日から 5月12日まで）

父島 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告がありました。

母島 特別な感染症の報告はありませんでした。

※ 5例以上発生時に実数報告としています

東京都全体での流行状況

【主な感染症】

第18週（令和6年4月29日～5月5日）

インフルエンザ	(減少)
COVID-19	(減少)
咽頭結膜熱	(減少)
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	(減少)
感染性胃腸炎	(減少)
水痘	(減少)
手足口病	(増加)
伝染性紅斑	(減少)
突発性発しん	(減少)
ヘルパンギーナ	(→)
百日咳	(→)
風しん	—
流行性耳下腺炎	(→)
RSウイルス	(減少)
流行性角結膜炎	(減少)
無菌性髄膜炎	—
マイコプラズマ肺炎	(減少)
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	—

※ 赤字の感染症は警報または注意報レベル
—は報告なし、(→)は大きな変動がないことを表します。

おうき おうと 嘔気と嘔吐と感染症

嘔気（おうき、吐き気）とは「胃の中にあるものを吐き出したい」という切迫した不快感をさし、嘔吐（おうと）とは、胃の中の内容物が食道・口から逆流して勢いよく外に吐き出される状態をいいます。



嘔気が起こる原因には、脳の疾患や自律神経失調症、ストレス、消化器官の異常など様々なものがあります。

嘔吐を繰り返すと、胃酸の流出により食道や口腔内に炎症が起こったり、脱水や低カリウム血症になることもあります。また、嘔吐物に病原体が含まれている場合、2次感染を引き起こすことがあります。



嘔吐物から2次感染を起こす感染症といえばウイルス性胃腸炎です。原因ウイルスはノロウイルスの他にも、ロタウイルスやアデノウイルスがあります。

感染した人の嘔吐物を放置したままにすると、前述のとおり2次感染が起き、感染が広がってしまう可能性があります。適切な方法で消毒を行い、速やかに処理しましょう。詳しい方法は左QRコードから「家庭でもできるノロウイルス対策」を参照ください。

なお、保育園、学校等では不用意に衣類を洗浄することによって、かえって施設内に大量に感染者を増加させてしまうことがあります。

原則的に、子どもたちの嘔吐物や下痢便が付着した衣類は洗浄せずにそのままビニール袋に入れて密封し、保護者の方にとって帰ってもらうことをお勧めします。



「家庭でできるノロウイルス対策」
★わかりやすい動画へのリンクもあります

感染症メモ

- 全体的に、前週に比べて定点当たり報告数は減少していますが、連休中の医療機関の休診が影響していると考えられます。

参考文献：日本医師会HP、国立感染症研究所感染症情報センター